

とうせい おか
伊賀市立桃青の丘幼稚園だより

たよう しゅたいせい かんよう きょういく
～多様な主体性を涵養する教育～

あさがお



今月は、秋の深まりを感じる日も増えてきました。園庭に舞い落ちる落ち葉や木の実を拾い集め、お気に入りの場所に置いたり、大切に保管したりする姿が見られます。子どもたちにとっては、自然物は宝物です。

また、冬に向けて様々な野菜を畑に植えました。大根、白菜、キャベツなど、各学年で相談して活動を進めています。「キャベツの葉っぱにいっぱい穴が開いてる!」と美味しい葉っぱを食べにくる小さな虫にも興味関心を抱いています。自分たちの野菜を守るために何とかしようと相談している姿が頼もしく感じるようになりました。子どもたちが自然とのかかわりを深めることができるよう工夫を重ねたいと思います。

ねらい:身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ。
～自然との出会いは、豊かな感情や好奇心を育み、思考力や表現力の基礎を形成する～

全園児でどんぐり拾い遠足へ出掛けました。それぞれの年齢のねらいをもち、事前に安全性の見極めや自然の中での学びが深まるような環境を探りながら教師が現地を下見しています。各年齢のねらいによってコースを分けて体験学習を行いました。



出発前には、今日のめあてを確認する(全園児)

「なかよしコース」

(3.4 歳児)



事後活動で自然物を種類や大きさに分ける(4 歳児)

3、4 歳児は、異年齢で出掛けることにしました。4歳児のリードで、最後まで安全に歩き、たくさんの自然物の宝物を見つけて笑顔で帰って来ました。



5歳児は、「チャレンジコース」を選択して挑戦しました。力のついてきた年長組ならではのコースを歩いてどんぐり拾いを楽しみました。教師や友だちの言葉掛けや会話で、自然物を見つける意欲や好奇心が高まり、広い視野をもちながら散策を楽しみました。5歳児クラスは、疲労も少なく元気で園に戻りました。

事後活動では、それぞれの自然物を分けて、次の制作活動へとつなげていくために大切に扱いました。これからも好奇心・探求心をさらに伸ばしていきたいと思ひます。

ねらい：身近な環境に自分からかかわり、発見を楽しんだり、考えたりし、それらを生活に取り入れようとする。

～連続した体験活動の中から学ぶ～

園で収穫したサツマイモを使って、お芋パーティーを開催しました。

5歳児は、火起こしを体験しました。その様子を 3・4 歳児は、見学をして年長組さんの活躍に心を躍らせました。たくさんのサツマイモが収穫できたため、あい先生が扮するあいママは、レストランをオープンしました。焼き芋の後のランチは、あいママ特製のサツマイモ入りのお味噌汁と寄付していただいた伊賀米を使ってサツマイモランチを作りました♡みんなで収穫したサツマイモは、格別の美味しさでした♡



火起こしをする(5歳児)



サツマイモを包む(全園児)



サツマイモを入れる(全園児)



「いい匂いがする!」「もうお腹空いてきた!」

「あらあら、焼き芋食べたのにもうお腹空いてきたの?もう少しで出来上がるわよ♡」

子どもたちは、多様な感動体験の中で心が動き、たくさん食べられて、自分からおかわりに来ました。いつの間にか、行列のできる「あいママレストラン」でした…。

あいママレストラン
～特別ランチメニュー～

「おかわりお願いします!」「あら?食べるの早いわね。」

「まだあるかな?」「あと残り何個ありそう?」



幼稚園にお馬さんがやってきた♡お馬博士になろう!

ねらい：地域とのかかわりを深めながら、身近な動植物に親しみをもって接し、生命の尊さに気づき、いたわったり、大切にしたりする。

お馬さんとのふれあい(全園児)



「ふかふかしてる!」「あったかい!」



「おやつニンジンどうぞ。」

(全園児)

かっこいい! 乗馬体験(5歳児)



～あさがおイラスト:ゆいさん～



文責 まつなが あい

